令和元年度 財政状況資料集

総括表(市町村)

								华史田林等	の指定状況		区分	令和元年度(千円)	平成30年度(千円)	区分	令和元年度(千F	1.%) 平成	30年度(千円・%)
ŧ	都道府県名	愛兒	印県	市町村	寸類型	п.	- 3	相走凶体等	切相连认从	歳入総額		27, 883, 981	25, 211, 377	実質収支比率		6. 4	6. 5
								財政健全化等	×	歳出総額		26, 585, 559	23, 998, 170	経常収支比率		81. 2	83. 3
								財源超過	0	歳入歳出え	<u> </u>	1, 298, 422	1, 213, 207	(※1)	()	1.2)	(83.3
	市町村名	日達	進市	地方交付	寸税種地	2	-7	首都	×	翌年度に終	越すべき財源	165, 630	122, 421	標準財政規模	17, 77 ⁻	, 782	16, 696, 170
								近畿	×	実質収支		1, 132, 792	1, 090, 786	財政力指数		1. 05	1.05
		平成27年国調(人	87, 977					中部	0	単年度収3	ξ	42, 006	289, 270	公債費負担比率		5. 8	6. 5
	人口	平成22年国調(人	84, 237	1	産	業構造 (※5)		過疎	×	積立金		511, 176	76, 512	健全化判断比率			
	增減率 (%) 4.4			山振 ×		繰上償還会	ì	0	0	実質赤字比率		-					
		令02.01.01(人)	91, 539	区	分	平成27年国調	平成22年国調	低開発	×	積立金取詞	前し額	0	0	連結実質赤字比率		-	
		うち日本人(ノ	89, 787	data -	1次	320	341	指数表選定	0	実質単年原	E収支	553, 182	365, 782	実質公債費比率		1. 2	1.4
住民	基本台帳人口	平31.01.01(人)	90, 772	弗	八	0.8	0. 9							将来負担比率		-	
	(※7)	うち日本人(ノ	39, 184	date o	0 v/m	11, 782	10, 617			基準財政中	7入額	13, 687, 254	12, 870, 548	資金不足比率(※4)			
		増減率 (%)	0.8		2次	29. 2	27. 9			基準財政部	等要額	12, 678, 148	12, 544, 643				
		うち日本人(9	6) 0.7	date o	3次	28, 261	27, 080			標準税収入	、額等	17, 771, 782	16, 696, 170				
Ū	面積(km³)		34. 91	弗、	3次	70. 0	71. 2			経常経費3	5当一般財源等	14, 753, 074	14, 378, 963				
人口密度(人/k㎡)			2, 520							歳入一般則	才源等	20, 678, 523	18, 997, 061				
世	帯数 (世帯)		34, 210														
				職員の状況			_										
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均								
	经力	Æ	給料月額(百円)	— #0		四月	(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現る	高	9, 357, 237	10, 288, 586	Ī			
Г	市区町村長	1	9, 920	職	一般職員	l .	460	1, 397, 940	3, 039	うち公的	資金	7, 565, 238	8, 310, 195				
Dil.	副市区町村長	1	8, 150	員	うち消	肖防職員	-	-		- 債務負担行	f為額 (支出予定額)	2, 416, 517	2, 171, 259				
別職	枚育長	1	7, 310	~	うち技	技能労務職員	6	17, 004	2, 834	収益事業4	łλ	-	-				
等	議会議長	1	5, 230	* 6	教育公務	務員	-	-		- 土地開発基	金現在高	-	-				
910	議会副議長	1	4, 640		臨時職員	į	-	-		-	財政調整基金	2, 513, 523	2, 002, 347				
910	議会議員	18	4, 300		合計		460	1, 397, 940	3, 039	積立金 現在高	減債基金	13, 523	13, 511				
				7	ラスパイレ	ノス 指数			99. 2		その他特定目的基金	2, 970, 980	2, 154, 230				
一般会 項番	計等の一覧	会計名	事業: 項番	会計の一覧		会計名		公営企業 (法適) 項番	の一覧 会計名		公営企業(法非適)の一覧 項番 会	覧 会計名	関係する一部事務約 項番	自合等一覧 組合等名	地方公社・第三セクター等一覧 項番 団体名		(*3)
(1) -	一般会計		(5)	国民健康	保険特別会	会計					(8) 下水道事業特別会計		(10) 愛知県市町村剛	·昌·温晓王当组 · ·	(17) 尾張土地開発公社		

(11) 愛知県後期高齢者医療広域連合 (一般会計) (2) 三ケ峯台団地汚水処理事業特別会計 (6) 介護保険特別会計 (9) 農業集落排水処理施設事業特別会計 (18) 日進アシスト株式会社 (12) 愛知県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計) (3) 南山エピック団地汚水処理事業特別会計 (7) 後期高齢者医療特別会計 (4) 五色園団地汚水処理事業特別会計 (13) 尾三衛生組合 (14) 尾三消防組合 (15) 尾張市町交通災害共済組合 (16) 愛知中部水道企業団

⁽注釈) ※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補増債 (特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。 ※2:各会計の一覧は主な会計 (10会計まで) を記載している。 ※3:地方公共団体が損失構築を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。 ※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。 ※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。 ※6:個人情報保護の親点から、対象となる場質数が1人又は2人の場合は、16針月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク (*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン (一)としている)。 ※7:人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

愛知県日進市

(1) 普通会計の状況(市町村)

区分 地方税 地方譲与税 利子割交付金	決算額 16, 274, 197	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	北かいは、田田・井八八
地方譲与税								超過課税分
		58. 4	15, 685, 770		普通税	15, 685, 571	96. 4	-
利之割亦什全	220, 057	0.8	220, 057	1. 2	法定普通税	15, 685, 571	96. 4	-
们工可关门亚	16, 644	0. 1	16, 644	0. 1	市町村民税	8, 354, 732	51.3	-
配当割交付金	115, 693	0.4	115, 693	0.6	個人均等割	162, 774	1.0	-
株式等譲渡所得割交付金	59, 688	0. 2	59, 688	0.3	所得割	7, 257, 455	44. 6	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	247, 790	1.5	-
地方消費税交付金	1, 478, 055	5.3	1, 478, 055	8. 1	法人税割	686, 713	4. 2	-
ゴルフ場利用税交付金	1, 730	0.0	1, 730	0.0	固定資産税	6, 819, 997	41.9	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	6, 806, 737	41.8	-
自動車取得税交付金	65, 081	0. 2	65, 081	0.4	軽自動車税	145, 382	0.9	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	365, 460	2. 2	-
自動車税環境性能割交付金	20, 072	0. 1	20, 072	0. 1	鉱産税	-	-	-
地方特例交付金等	417, 715	1.5	417, 715	2. 3	特別土地保有税	-	-	-
個人住民税減収補塡特例交付金	118, 203	0.4	118, 203	0.7	法定外普通税	-	-	-
自動車税減収補塡特例交付金	10, 404	0.0	10, 404	0.1	目的税	588, 626	3.6	-
軽自動車税減収補塡特例交付金	1, 346	0.0	1, 346	0.0	法定目的税	588, 626	3.6	-
子ども・子育て支援臨時交付金	287, 762	1.0	287, 762	1.6	入湯税	199	0.0	-
地方交付税	37, 830	0.1	-	-	事業所税	-	-	-
普通交付税	_	-	-	-	都市計画税	588, 427	3.6	-
特別交付税	37, 830	0.1	-	-	水利地益税等	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	法定外目的税	-	-	-
(一般財源計)	18, 706, 762	67. 1	18, 080, 505	99.6	旧法による税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	11, 651	0.0	11, 651	0.1	合計	16, 274, 197	100.0	-
分担金・負担金	169, 131	0.6	-	-				
使用料	374, 300	1.3	44, 647	0. 2				
手数料	144, 617	0.5	-	-	区分	令和元年度		平成30年度
国庫支出金	3, 523, 424	12.6	-	-	徴収率 現 計 大阪共日報	99. 2	97. 8	99. 1 97. 6
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-		99. 1	97.8	99. 1 97. 6
都道府県支出金	1, 985, 983	7. 1	-	-	(%) 年 純固定資産税	99. 2	97.8	99. 2 97. 6
財産収入	19, 565	0.1	14, 277	0.1	•	•		
寄附金	72, 544	0.3	_	-	公営事業等への繰出	国民健康	東保険事業	会計の状況
繰入金	219, 226	0.8	-	-	合計 3, 168, 360	実質収支		122, 507
繰越金	1, 213, 207	4.4	-	-	下水道 724,570	再差引収支		-307, 650
諸収入	1, 306, 571	4. 7	9, 258	0.1	上水道 4,283	加入世帯数(世帯))	9, 041
地方債	137, 000	0.5	_	-	工業用水道 -	被保険者数(人)		14, 162
うち減収補塡債(特例分)	-	-	-	-	交通 -	C/早時	(税(料)収.	入額 106
うち臨時財政対策債	-	-	-	-	国民健康保険 818,997	依保陝石 国庫	支出金	-
歳入合計	27, 883, 981	100.0	18, 160, 338	100.0	その他 1,620,510		給付費	294

(汪	粎)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

国の別議出の状況(単位 千円・96)				位 千円・%)			
議会費 244, 319 0.9 3.472.675 13.1 1 43,703 3.158,292	-			(単位 千円・%)	•		
総務費	区分	決算額(A)	構成比	(A) のうち普通建	建設事業費	(A)のうち折	当一般財源等
総務費	議会費	244, 319	0. 9		-		244, 270
民生費 物出費 11,924,700 44,9 927,134 6,673,088 2,064,510 労働費 農林水産業費 141,461 0.5 12,319 132,390 142,752 142,752 132,390 132,390 132,390 132,390 132,390 132,390 132,390 132,390 132,390 132,390 132,390 144,572 897,402 2,605,743 2,605,763 2,2140,405 19,380,101 10,000 2,410,485 19,380,101 10,000 2,410,485 19,380,101 10,000 2,410,485 19,380,101 10,000 2,410,485 1,011,300 3,826,187 2,170,730 3,829 3,836,229 </td <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>43 703</td> <td></td> <td></td>					43 703		
第生費							
労働者 農林水産業費 商工費 141, 461 0.5 12, 319 高工費 2, 529, 339 9.5 865, 647 2, 140, 571 湯防費 903, 277 3.4 4, 522 897, 402 教育費 1, 192, 589 4.5 - 1, 192, 589 藤出合計 26, 585, 559 100.0 2, 410, 485 19, 380, 91 大野養 4, 116, 226 15, 5 3, 836, 229 うち元金 1, 192, 589 4.5 1, 192, 589 4.5 1, 192, 589 1, 192, 589 6.6 6.6 6.6 6.6 6.6 7 内 5 5 元元金 1, 192, 589 4.5 1, 192, 589 1, 192, 589 6.6 6.6 6.6 6.6 6.6 6.6 6.6 6.6 6.6 6.							
### 141, 461 0.5 12, 319 132, 390 15 128, 494 152 140, 571 140,					30, 420		
商工費					-		
上大費							
消防費 3,300,304 12.4 4,522 2,605,743			1.3				
教育費 3,300,304 12.4 493,679 2,605,743 (災害復旧費 1,192,589 4.5 1,192,589 100.0 2,410,485 19,380,101	土木費	2, 529, 339	9. 5		865, 647		2, 140, 571
教育費 3,300,304 12.4 493,679 2,605,743 (災害復旧費 1,192,589 4.5 1,192,589 100.0 2,410,485 19,380,101	消防費	903, 277	3.4		4, 522		897, 402
次書復旧費		3 300 304	12 4		493 679		2 605 743
1,192,589			-		-		
諸支出金 前年度繰上充用金 歳出合計 26,585,559 100.0 2,410,485 19,380,101 性質別歳出の状況 (単位 千円・%) 区分 決算額 構成比 充当一般財源等 経常経費充当一般財源等 経常収支比率 養務的経費計 10,770,646 40.5 7,081,454 人件費 4,116,226 15.5 3,836,229 3,826,187 21.1 入方ち職員給 2,843,590 10.7 2,583,105 大助費 1,192,589 4.5 1,192,589 1,192,589 6.6 内 うち元金 1,192,589 4.5 1,192,589 1,192,589 6.6 内 うち元金 1,068,349 4.0 1,068,349 1,068,349 5.9 訂 うち利子 124,240 0.5 124,240 124,240 0.7 一時借入金利子 124,240 0.5 124,240 124,240 0.7 一時借入金利子 13,404,428 50.4 11,197,287 7,681,677 42.3 物件費 6,116,353 23.0 4,623,347 4,380,327 24.1 維持補修費 299,339 1.1 266,088 265,778 1.5 有助費等 2,309,652 8.7 2,055,904 1,988,442 10.9 うち一部事務組合負担金 3,164,077 11.9 2,809,044 1,074,130 5.8 機出金 積立金 1,230,723 4.6 1,181,117 1,174,768 6.5 検責・出資金・貸付金 1,395,007 5.2 1,371,904 1,067,130 5.8 積立金 1,395,007 5.2 1,371,904 1,074,130 5.8 横立金 1,395,007 5.2 1,371,904 1,074,130 5.8 横立金 1,395,007 5.2 1,371,904 1,074,130 5.8 横立金 2,410,485 9.1 1,101,360 76,082 76,082 75,0		1 102 580	15		_		1 102 580
Test		1, 192, 569	4. 0		_		1, 192, 509
大学報報		-	_		-		-
性質別蔵出の状況 (単位 千円・%) 経常経費充当一般財源等 経常収支比率 養務的経費計							-
交換機器	歳出合計	26, 585, 559	100.0	1	2, 410, 485		19, 380, 101
交換機器							
表別的経費計		性質別歳	出の状況				
人件費 4,116,226 15.5 3,836,229 3,826,187 21.1 方ち職員給 大助費 5,461,831 20.5 2,052,636 2,052,631 3,06 6.6 7.6 6.6 7.6 <td>区分</td> <td>決算額</td> <td>構成比</td> <td>充当一般財源等</td> <td>経常経費充</td> <td>当一般財源等</td> <td>経常収支比率</td>	区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充	当一般財源等	経常収支比率
大助費	義務的経費計	10, 770, 646	40.5	7, 081, 454		7, 071, 397	38. 9
大助費	人件費	4, 116, 226	15. 5	3, 836, 229		3, 826, 187	21. 1
扶助費							
公債費						2 052 621	11 2
元利償還金 1,192,589 4.5 1,192,589 1,192,589 1,068,349 1,077 42.3 4.6 1,111,197,278 2,681,677 42.3 4.6 2,309,652 8.7 2,055,904 1,988,442 10.9 5 1,181,117 1,174,768 6.5 1,181,117 1							
内部 うち元金 うち利子 一時借入金利子 1,068,349 124,240 4.0 0.5 124,240 1,068,349 124,240 1,068,349 0.7 124,240 5.9 0.7 7 6,116,353 1,068,349 124,240 5.9 0.7 7 6,81,677 42.3 4,623,347 4,380,327 24.1 4,380,327 24.1 4,380,327 24.1 1,11,197,287 4,681,677 42.3 4,380,327 24.1 1,11,197,287 4,681,677 42.3 4,380,327 24.1 1,11,197,287 4,681,677 42.3 4,380,327 24.1 1,11,197,287 4,681,677 42.3 4,682,347 4,380,327 24.1 1,988,442 10.9 1,988,442 10.9 1,988,442 10.9 1,988,442 10.9 1,988,442 10.9 1,988,442 10.9 1,988,442 10.9 1,11,11,174,768 6.5 6.5 6.5 横立金 投資・出資金・貸付金 前年度繰上充用金 うち人件費 120,000 1,372,312 5.2 0.3 76,082 1,101,360 76,082 0.3 76,08							
記							
一時借入金利子 その他の経費 13,404,428 50.4 11,197,287 7,681,677 42.3							
での他の経費 6,116,353 23.0 4,623,347 4,380,327 24.1 物件費 6,116,353 23.0 4,623,347 4,380,327 24.1 維持補修費 299,339 1.1 266,088 265,778 1.5 清助費等 2,309,652 8.7 2,055,904 1,988,442 10.9 うち一部事務組合負担金 1,230,723 4,6 1,181,117 1,174,768 6.5 接付金 1,395,007 5.2 1,371,904 0.5 均質的経費計 2,410,485 9.1 1,101,360 76,082 75 方も人件費 76,082 0.3 76,082 267,758	訳 うち利子	124, 240	0. 5	124, 240		124, 240	0. 7
物件費 維持補修費 補助費等 うち一部事務組合負担金 機出金 程立金 投資・出資金・貸付金 前的度機計 うち人件費 司・力・人件費 可・力・力・人件費 可・力・力・人件費 可・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力・力	一時借入金利子	-	-	-		-	-
維持補修費 299,339 1.1 266,088 265,778 1.5 2,055,904 1,988,442 10.9 1,230,723 4.6 1,181,117 1,174,768 6.5 3,164,077 11.9 2,880,044 1,174,768 6.5 3,164,077 11.9 2,880,044 1,047,130 5.8 120,000 0.5 120,0	その他の経費	13, 404, 428	50. 4	11, 197, 287		7, 681, 677	42. 3
維持補修費 299,339 1.1 266,088 265,778 1.5 2,055,904 1,988,442 10.9 1,230,723 4.6 1,181,117 1,174,768 6.5 3,164,077 11.9 2,880,044 1,174,768 6.5 3,164,077 11.9 2,880,044 1,047,130 5.8 120,000 0.5 120,0	物件費	6. 116. 353	23. 0	4, 623, 347		4. 380. 327	24. 1
補助費等							
1,230,723							
繰出金 積立金 投資・出資金・貸付金 前年度繰上充用金 投資的経費計 うち人件費 「あた補助」 うち補助 うち補助 うち補助 うち維独 災害復旧事業費 失業対策事業費 「大記報」 「大記報 「大記報」 「大記報 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報」 「大記報 「大記報」 「大記報 「大記報 「大記報」 「大記報」 「大記報 「大記報」 「大記報」 「大記報 「大記報」 「大記報」 「大記報 「大記報」 「大記報 「大記報 「大記報」 「大記報 「大記報」 「大記報 「大記報」 「大記報 「大記報」 「大記報 「大記報 「大記報」 「大記報 「大記報 「大記報」 「大記報 「大記報 「大記報 「大記報」 「大記報 「大記報 「大記報 「大記報 「大記報 「大記報 「大記報 「大記報							
積立金 投資・出資金・貸付金 前年度繰上充用金 うち人件費 76,082 0.3 76,082 76,082 76,082 2 一							
投資・出資金・貸付金 前年度繰上充用金 投資的経費計 うち人件費 76,082 0.3 76,082 「普通建設事業費 2,410,485 9.1 1,101,360 76,082 0.3 76,082 2,410,485 9.1 1,101,360 76,082 2,410,485 9.1 1,101,360 1,372,312 5.2 267,758 うち単独 1,038,173 3.9 833,602 災害復旧事業費 失業対策事業費						1, 047, 130	5. 8
前年度繰上充用金 投資的経費計 2,410,485 9.1 1,101,360 うち人件費 76,082 0.3 76,082 言通建設事業費 2,410,485 9.1 1,101,360 うち補助 1,372,312 5.2 267,758 うち単独 1,038,173 災害復旧事業費 失業対策事業費				1, 3/1, 904		-	-
投資的経費計 うち人件費 一方人件費 一方の経 内 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可 可	投資・出資金・貸付金	120, 000	0. 5	-		-	-
76,082 0.3 76,082 1.101,360 1.372,312 5.2 267,758 2.5 1.038,173 2.5 2 267,758 2.5 2	前年度繰上充用金	-	-	-			
76,082 0.3 76,082 1.101,360 1.372,312 5.2 267,758 2.5 1.038,173 2.5 2 267,758 2.5 2	投資的経費計	2, 410, 485	9. 1	1, 101, 360			
普通建設事業費 うち補助 うち単独 災害復旧事業費 失業対策事業費 2,410,485 1,372,312 1,038,173 3.9 833,602 	うち人件費		0.3	76 082			
内 訳 設審復旧事業費 失業対策事業費 1,372,312 1,038,173 2 1,038,173 - - - 5.2 3.9 3.9 833,602 - - - 267,758 833,602 - - - -							
うち単独 災害復旧事業費 失業対策事業費							
次音復口争来賞		1, 038, 173	3.9	833, 602			
	災告復旧争耒貨	-	-	-			
厳出合計 26 585 559 100 0 19 380 101			-				
DATE I H	蔵出台計	26, 585, 559	100.0	19, 380, 101			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

放五日午00岁以700(千世.日7517)							
会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等 からの 繰入金	地方債 現在高	備考
1 一般会計	27,786	26,504	1,282	1,117	190	9,357	
2 三ケ峯台団地汚水処理事業特別会計	10	8	2	2	1	-	
3 南山エピック団地汚水処理事業特別会計	9	6	3	3	1	-	
4 五色園団地汚水処理事業特別会計	79	67	11	11	27	-	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16		·					
+ 一般会計等(純計)	27.884	26.586	1,298	1.133		9.357	

一般会計等(純計) 27.884 26.586 1.298 1.133 9.357 ※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	6,616	6,493	123	123	731	-	-	-	
2 介護保険特別会計	5,032	4,738	295	295	758	-	-	-	
3 後期高齢者医療特別会計	1,936	1,936	0	0	829	-	-	-	
4 下水道事業特別会計	2,331	2,192	139	139	718	9,211	6,411	-	法非適用企業
5 農業集落排水処理施設事業特別会計	14	10	4	4	7	-	-	-	法非適用企業
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等		/		560	/				

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

(3ヵ年平均)

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	愛知県市町村職員退職手当組合	8,143	7,203	939	939	-	-	-	
2	愛知県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	1,637	1,542	95	95	1	-	-	
3	受知県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	878,811	858,109	20,702	20,702	1	-	_	
4	尾三衛生組合	1,869	1,780	89	89	163	979	193	
5	尾三消防組合	3,857	3,798	59	59	78	186	60	
6	尾張市町交通災害共済組合	45	35	10	10	25	-	-	
7	愛知中部水道企業団	7,073	5,964	1,109	3,459	-	1,829	-	
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
ät	一部事務組合等				25,353		2,994	253	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

経常損益 経常損益 正味財産

令和元年度

当該団体から の損失補償に 係る債務残高 負担見込額

爱知県日進市

_			純資産又は 正味財産	四天亚	からの 補助金	からの 貸付金	当該団体から の債務保証に 係る債務残高	当該団体から の損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備
1	尾張土地開発公社	2	26	10	- 1	-		-		
3	日進アシスト株式会社	4	292	10			_		_	
4										
5										
6 7										
3										
Э										
0										
2										
3										
4										
5										
7										
8										
9										
!0										
12										
:3										
:4										
:5										
!6 !7										
18										
!9										
10										
12										
13										
14										
15										
17										
18										
19										
10										
12										
13										
14										
15										
17										
18										
19										
i0										
i2										
i3										
i4 i5										
i6										
17										
i8										
i9 i0										
11										
12										
i3										
14										
i5 i6										
17										
18										
10										
11										
2										
'3										
14										
16										
7										
18										
19										
11										
12										
_	カム社・第三セクター等			13						
	地方公共団体が①25%以上出資している 地方公共団体財政健全化法に基づき将:						ている。			

実質公債費比率	(千円・%)										1	将来負担比率	(千円・%)				
区分	平成29年	度 平成30年度	令和元年度	分母比		区	分		平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比	内訳	平成29年度	平成30年度	令和元年度	分母比
元利償還金	1,332,70	2 1,229,427	1,192,589	7.2	将来負担額	一般会計等に係	系る地方債の現在高	i	11,238,848	10,288,586	9,357,237	56.3	PFI事業に係るもの	-	-	_	
減債基金積立不足算定額			-	-		債務負担行為(に基づく支出予定額		-	-	-	-	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	_	
進 満期一括償還地方債に係る年度割相当額			-	-		公営企業債等網	繰入見込額		6,534,039	6,512,073	6,410,577	38.6	国営土地改良事業に係るもの	-	-	_	
元 公営企業債の元利償還金に対する繰入金	436,91	6 476,728	471,223	2.8		組合等負担等身	見込額		202,349	226,051	252,528	1.5	債 森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	_	
利 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	49,18	8 45,874	34,815	0.2		退職手当負担身	見込額		-	-	-	-	務 自 地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	_	
環 債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)				-		設立法人等の負	負債額等負担見込額	Į	-	-	-	-	担 依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	_	
金一時借入金の利子				-		うち、健全化法施行	行規則附則第三条に係る負	負担見込額	-	-	-	-	行 社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	_	
合計 ()	A) 1,818,80	6 1,752,029	1,698,627			連結実質赤字額	額		-	-	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	_	
内訳	平成29年	度 平成30年度	令和元年度	分母比		組合等連結実質	質赤字額負担見込額	Į	-	-	-	-	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	_	
PFI事業に係るもの			-	-		合計		(E)	17,975,236	17,026,710	16,020,342		その他上記に準ずるもの	-	-	_	
いわゆる五省協定等に係るもの			-	-	充当可能	充当可能基金			4,578,946	5,448,531	6,873,333	41.4	下水道事業特別会計	6,534,039	6,512,073	6,410,577	3
信 国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	0		-	-	財源等	充当可能特定。	装入		4,626,664	4,431,544	4,499,848	27.1	介護保険特別会計	-	-	_	
務 地方公務員等共済組合に係るもの			-	-		基準財政需要額	額算入見込額		11,847,486	10,984,687	10,054,569	60.5	企業債等 繰入見込額 後期高齢者医療特別会計	-	-	_	
負担 社会福祉法人の施設建設費に係るもの				-		合計		(F)	21,053,096	20,864,762	21,427,750		国民健康保険特別会計	-	-	_	
行 損失補償・債務保証の履行に係るもの				-	将来負担比	率((E)-(F))/(((C)-(D)) × 100		-	-	-		その他の会計	-	-	_	
為 引き受けた債務の履行に係るもの				-									地方道路公社に係る将来負担額	-	-	_	
その他上記に準ずるもの				-									公社・土地開発公社に係る将来負担額	-	-	_	
利子補給に係るもの				-	. 健	全化判断比率	令和元年度	早期健全	化基準 財	政再生基準	1		三セク等 地方独立行政法人に係る将来負担額	-	-	_	
特定財源の額(B) 311,57	8 341,677	390,703		実質	頁赤字比率	-		12.60	20.00			その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	_	
標準財政規模(C) 16,895,45	0 16,696,170	17,771,782		連絡	吉実質赤字比率	_		17.60	30.00							
算入公債費等の額 (D) 1,263,51	0 1,227,322	1,162,965		実質	質公債費比率	1.2		25.0	35.0							
(C)-(D) 15,631,94	0 15,468,848	16,608,817		- 将来	E 負担比率	_		350.0		1						
実質公債費比率(単年度) 1	6 1.2	0.9		1 -						4						
((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100 (3ヵ年平	5) 1	7 14	1 12		1												

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人(R2.1.1現在) うち日本人 89, 787 人(R2.1.1現在) 連結実質赤字比率 96 34. 91 実 質 公 債 費 比 率 λ 27, 883, 981 千円 帮 来 鲁 相 比 塞 # 4 26, 585, 559 ж 千円 型 H27 II-3 H28 II-3 H29 II-3 費収 支 1, 132, 792 千円 H30 R01 II - 3 17. 771. 782 千円 地方情现在高 9, 357, 237 千円

● 当該団体値 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※人口については、各脚査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、今和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

財政力 財政力指数 [1.05] 1.09 0.80 0.74 0.72 0.38 H27 H28 H29 H30 R01

類似团体内膜位 爱知果平均 0.51 0.98 2/86

人口増加や高齢化などにより需要が増加したが、法人税割の増加や、商業施設等 大型物件を含む新築家屋の増加による固定資産税の増加などの影響で税収増とな り、過去3か年において基準財政需要額の伸びと同様に基準財政収入額も増加した ため、財政力指数は前年度同様となった。また、類似団体の平均は大きく上回るもの の、新型コロナウイルスの影響による税収等の減少により、基準財政収入額は減少 が見込まれる一方、高齢化や子どもの数が多い本市で影響の大きい幼児教育・保育 無償化の影響により、基準財政需要額の増加が見込まれる。今後は、地方財政計画 や骨太の方針を鑑みると1,00付近で推移すると見込まれる。

財政構造の弾力性 経常収支比率 [81.2%] 80.0 93.9 91.7 93.7 100 (103.9 110.0

H29

H30

R01

類似团体内層位 全国平台 多知厚平均

経常収支比率の分析機

着似团体内槽位

令和元年度は、経常経費充当一般財源等及び経常一般財源等はともに増加し たが、税収増などにより、経常経費充当一般財源等に比べ経常一般財源等が大 幅に増加し、経常収支比率は改善した。

今後は、新型コロナウイルスの影響による景気の悪化により、個人市民税、法 人住民税や地方消費税交付金の大幅な減少が見込まれており、地方創生臨時 交付金等の増加があるものの、市政に与える影響は多大なものであると推測さ れるため、予算編成のタイミングで税の見込みを精査し、歳入に見合った歳出予 算にすることで、経常収支比率に留意し、コントロールしていく。



H27

H28

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析機

人件費は人事院勧告の影響及び職員数の増加により増加し、物件費は プレミアム付商品券事業委託料の皆増などにより、人口1人当たりの決算 額は増加した。類似団体の平均とほぼ同水準にあるものの、引き続き経営 改革プランや定員適正化計画により人件費と物件費を併せて抑制するよう 努める。

135 AAC

爱知果平均

129 66

令和元年度

愛知県日進市

多知事平均

爱知果平均

27.8



類似団体内順位 全国平均

得来負担比率の分析権

令和元年度も引き続き将来負担額に対し、充当可能財源等が上回るた め、将来負担比率の表示はない。しかしながら、今後も人口増加に伴う子 育て施策の拡充や公共施設の老朽化対応、下水道整備事業等が見込ま れるため、世代間の公平性を勘案して起債発行管理を適正に行い、中期 財政計画に基づき引き続き健全な水準の維持に努める。

27.4



類似团体内膜位 定質公債費比率の分析機

16.1

R01

R01

税収の増加により、分母の標準税収入額等が増加し、分子の普通会計に おける元利償還金も減少したため、全体としては、減少となった。類似団体 平均より低い水準にはあるが、今後も中期財政計画に基づき、地方債発行 管理を適性に行い、将来負担比率と同様に健全な水準の維持に努める。



H29

H30

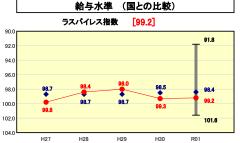
H30

類似团体内膜位 全国平均 多知厚平均

人口1,000人当たり職員数の分析機

第5次定員適正化計画(平成28年度から令和2年度までの5年間)に基 づき、人口増加に伴う業務量の増加に加え、業務の専門化や、高度化・多 様化する市民ニーズに対応するため、各年度の定年退職予定者等を鑑み ながら職員の増員を行ってきた。

今後については、ICT化の推進等により業務の効率を図るとともに、定年 延長等の状況を踏まえて適正な職員数の確保に取り組んでいく。



H29

類似团体内層位

ラスパイレス指数の分析標

国の給与制度に準拠した給与体系を採用しているが、組織内の一部の 学歴区分において年齢構成に偏りがあるため、数値が一時的に上昇する 可能性がある。今後も引き続き、国の制度に準拠した給与制度の運用を図 ることで、 適正な給与水準の維持を図る必要がある。

10.0

20.0

H27

H27

H28

H28

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和元年度

愛知県日進市

経常収支比率の分析



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費 10.0 15.0 17.1 20.0 23.5 25.0 30.0 35.0 35.2 40.0 H27 H28 R01

類似团体内順位

全国平均 爱知県平均 25.6

人件費に充当する経常経費充当一般財源が増加したものの、 全体の経常一般財源についても増加したことから、0.6ポイント 減少した。類似団体の平均を引き続き下回っているものの、今後 も引き続き、国の制度に準拠した給与制度の運用を図ることで、 適正な給与水準の維持を図る必要がある。



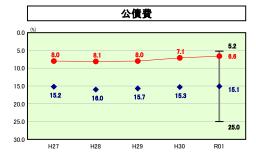
扶助着の分析権

全体の経常一般財源が増加したものの、児童福祉費の施設型 給付費の増加及び無償化による子育てのための施設利用給付 費の皆増により、扶助費に充当する経常経費充当一般財源が増 加し、扶助費の経常収支比率も前年度と比較して1.1ポイント増 加した。今後も、ニーズの増加により子育て支援、障害者福祉等 にかかる費用が増加する傾向であり、比率の推移を注視する。

全国平均

爱知県平均

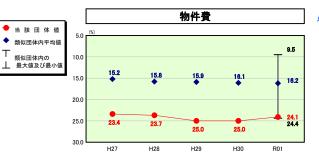
爱知愿平均



類似用体内層份

令和元年度は、平成11年度に借入れた減税てん債や平成21 年度に借入れた学校給食センター設備整備事業の地方債の償 還が終わったことなどにより、0.5ポイント減少した。今後は公共 施設の大規模改修等に伴う地方債の発行を予定しているため、 適正な発行管理により、公債費負担の健全な水準の維持に努め る。

全国平均



類似団体内順位 85/86

全国平均 15.0 爱知県平均 16.2

物件費の分析は

物件費総額はプレミアム付商品券事業委託料の皆増などによ り増加したが、全体の経常一般財源についても増加したことから、 前年度より0.9ポイント減少した。アウトソーシングを積極的に進 めているため、物件費は依然として類似団体の平均を大きく上 回っているものの、人件費と併せた経常経費比率の健全な水準 の維持に努める。



類似团体内順位

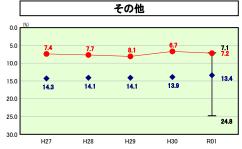
全国平均

爱知愿平均

爱知哪平均

爱知得平均

補助費等総額は、日東衛生組合が解散したことによる負担金 の皆滅などにより、減少しており、また、全体の経常一般財源に ついても増加したことから、1.7ポイント減少した。一部事務組合 については、施設の老朽化等の問題を抱えており、各組合への 負担金は増加することが予測されるため、類似団体とほぼ同水 準ではあるが、急激に増加することのないよう努める。



その他の分析

類似团体内順位

類似団体平均の半分程度となっているが、今後、施設の老朽 化による維持補修費の増加、高齢化や医療費の増加による介護 保険特別会計、後期高齢者医療特別会計への繰出金の増加が 見込まれる。今後も計画的な修繕の遂行、基金の活用等による 繰出金の適正な水準の維持により指標の上昇抑制に努める。

全国平均



78.3

H29

78.4

H30

78.8

90.8

R01

令和元年度は類似団体平均より人件費で2.4ポイント、扶助費で1. 6ポイント、その他で、6、2ポイント下回ったことなどにより、公債費以 外の経常収支比率で、2.2ポイント下回った。前年度と比較すると、補 助費等で1.7ポイント減少したことなどにより、公債費以外の経常収 支比率も1.6ポイント減少した。今後も、施設型給付費の増加による 扶助費の増加等が見込まれるが、定員適正化計画や中期財政計画



全国平均

50.0

60.0

70.0

80.0

90.0

100.0

76.5

H27

H28

類似団体内の

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

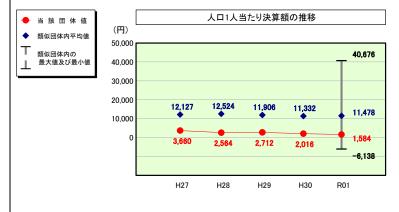
人件費及び人件費に準ずる費用の分析



_人件費及び人件費に準ずる費用				
	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	Į.
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	4, 116, 226	44, 967	57, 754	▲ 22. 1
賃金(物件費)	539, 388	5, 892	3, 830	53. 8
一部事務組合負担金(補助費等)	714, 991	7, 811	6, 814	14. 6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	=	1, 059	=
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	=	4	=
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	211, 434	2, 310	2, 651	▲ 12.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	76, 082	831	1, 352	▲ 38.5
▲退職金	▲ 310, 002	▲ 3, 387	▲ 4, 074	▲ 16.9
合計	5, 348, 119	58, 424	69, 392	▲ 15.8

(注)人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

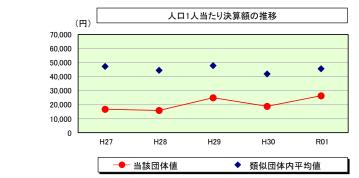


公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額		人口1人当たり決算	
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	1, 192, 589	13, 028	34, 189	▲ 61.9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	=	16	=
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	471, 223	5, 148	9, 412	▲ 45. 3
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	34, 815	380	2, 024	▲ 81.2
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	=	=	1, 165	=
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	▲ 390, 703	▲ 4, 268	▲ 6, 367	▲ 33.0
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 1, 162, 965	▲ 12, 705	▲ 28, 963	▲ 56.1
合計	144, 959	1, 584	11, 478	▲ 86.2

※令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析

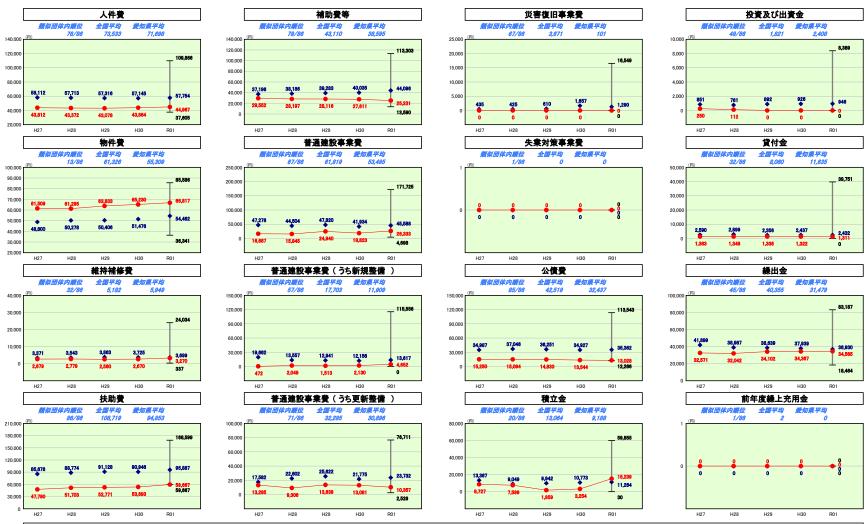


普通建設事業費

		当該団体決算額		J	、ロ1人当たり決算額	Ą	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
H27		1, 468, 839	16, 687	▲ 20.8	47, 278	▲ 28.6	7. 8
	うち単独分	808, 936	9, 190	▲ 34. 2	24, 096	▲ 24.3	▲ 9.9
H28		1, 410, 330	15, 845	▲ 5.0	44, 504	▲ 5.9	0. 9
	うち単独分	992, 606	11, 152	21. 3	25, 876	7. 4	13. 9
H29		2, 240, 881	24, 940		47, 820	7. 5	49. 9
	うち単独分	1, 561, 867	17, 383		25, 855	▲ 0.1	56. 0
H30		1, 708, 588	18, 823	▲ 24.5	41, 934	▲ 12.3	▲ 12. 2
	うち単独分	1, 057, 939	11, 655	▲ 33.0	23, 352	▲ 9.7	▲ 23.3
R01		2, 410, 485	26, 333	39. 9	45, 588	8. 7	31. 2
	うち単独分	1, 038, 173	11, 341	▲ 2.7	24, 150	3. 4	▲ 6.1
過去5年間平均		1, 847, 825	20, 526	9. 4	45, 425	▲ 6.1	15. 5
	うち単独分	1, 091, 904	12, 144	1. 5	24, 666	▲ 4.7	6. 2



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別慮出の分析機

歳出決算総額は、住民一人当たり290,429円となっている。全国類似団体を上回っているのは物件費であるが、プレミアム付商品券事業委託料の皆増などにより、一人当たり物件費は増加しており、依然として類似団体平均と比べてかなり高い水準となった。 扶助費は、住民一人当たり59,667円となっている。類似団体平均と比較して一人当たり歳出金額が低い状況となっているものの、施設型給付費の増加や無償化に伴う子育てのための施設利用給付費の皆増などにより、前年度から5,974円増加した。 普通建設事業費は、住民一人当たり26,333円となっており、認可保育所等整備費補助金の増加等にともない前年度から7,510円増加した。

公債費は、平成11年度に借入れた減税てん債や平成21年度に借入れた学校給食センター設備整備事業の地方債の償還が終わったことなどにより、前年度から516円減少した。

積立金は、財政調整基金元金積立金や公共施設整備基金元金積立金の増加により、前年度から11,985円増加した。

今後は、新型コロナウイルスの影響による歳入の減に対応し、歳出についても、より一層の選択と集中により、老朽化を迎えるインフラ・公共施設等の大規模修繕や新規の大規模事業等を行う。



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別慮出の分析欄

類似団体平均と比較すると、ほぼ全ての項目で低い水準で推移している。主な構成項目である民生費は、住民一人当たり130.268円となっており、類似団体平均を下回っているが近年増加傾向にある。構成比を見ると、民生費のうち児童福祉行政に要する経費である児童福祉費が全体の約6 19を占めており、ついて社会福祉費が約2096を占めている。生活保護費の割偽さ低く切えられている。令和元年度は認可保育所等整備費補助金、施設型給付費、地域密着型サービス等施設整備事業補助金などが増加したことなどにより、前年度から13.932円増加した。 土木費は、赤池箕ノ手土地区画整理推進支援事業が減少したものの、市道黒巻三本木線整備事業の増加などにより、前年度から888円増加した。

総務費は、財政調整基金元金積立金や公共施設整備基金元金積立金の増加により、前年度から8,153円増加した。

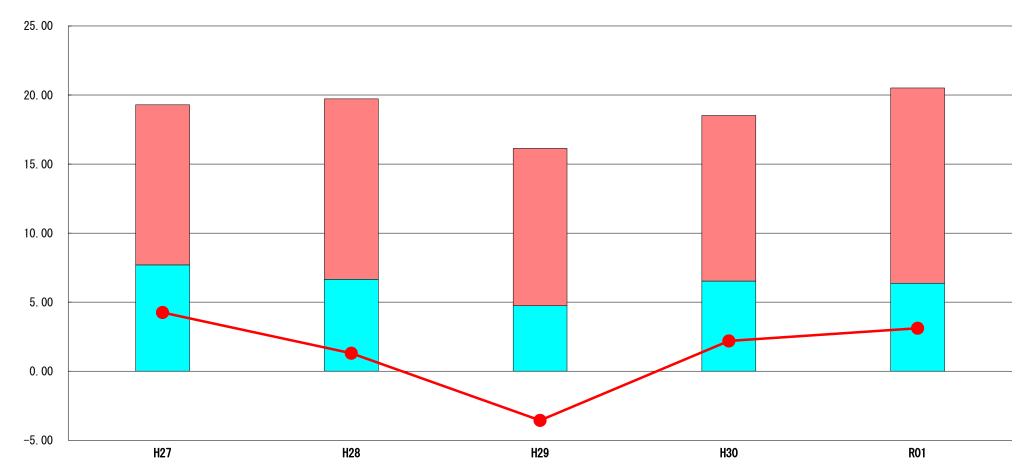
教育費は、子育てのための施設利用給付費が皆増したものの、日進中学校トイレ改修工事(洋式化)や日進西中学校外壁改修工事が皆滅したことなどにより、、前年度から1,530円減少した。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

令和元年度

愛知県日進市

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分 年度	H27	H28	H29	H30	R01
財政調整基金残高	11. 59	13. 07	11. 40	11. 99	14. 14
実質収支額	7. 70	6. 65	4. 74	6. 53	6. 37
実質単年度収支	4. 25	1. 30	▲ 3.56	2. 19	3. 11

分析欄

財政調整基金は、令和元年度補正予算における財源確保分及び利子収入分として、約5億1千万円積み立てたため、前年度比2.15ポイント増加した。

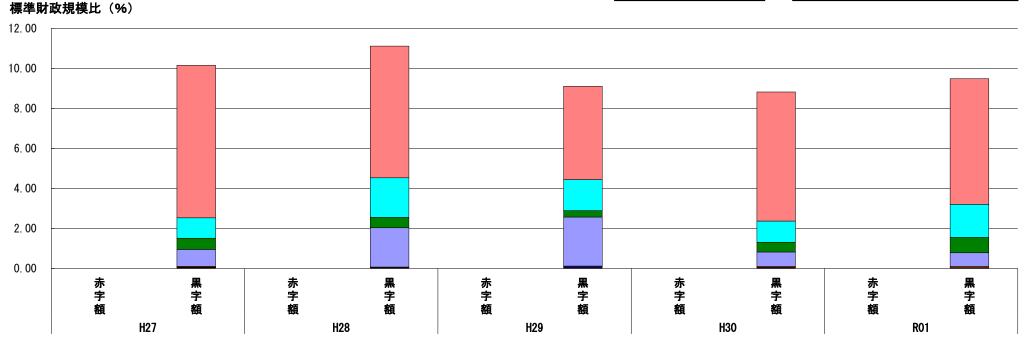
実質収支額は、令和元年度に前年度比 0.16ポイント減少した。 実質単年度収支は、単年度収支が約4千万円増加し、積立てを行った ことで、0.92ポイント増加した。

財政調整基金については、新型コロナウイルスの影響により、減少の 見込みであるが、中期財政計画に基づき税収回復後には30億円の確保 を目標とする。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

令和元年度

愛知県日進市



標準財政規模比(%)

年度 会計	H27	H28	H29	H30	R01
一般会計	7. 62	6. 58	4. 66	6. 45	6. 28
介護保険特別会計	1. 02	1. 98	1. 55	1. 06	1. 65
下水道事業特別会計	0. 56	0. 52	0. 32	0. 49	0. 77
国民健康保険特別会計	0. 84	1. 96	2. 45	0. 72	0. 68
五色園団地汚水処理事業特別会計	0. 04	0. 03	0. 04	0. 05	0. 06
農業集落排水処理施設事業特別会計	0. 01	0. 00	0. 00	0. 00	0. 02
南山エピック団地汚水処理事業特別会計	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
三ケ峯台団地汚水処理事業特別会計	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01	0. 01
その他会計(赤字)	-	-	-	_	-
その他会計(黒字)	0. 04	0. 02	0.06	0. 03	0. 00

分析欄

一般会計は、実質収支が増加したものの、標準財政規模も増加したことにより、令和元年度は前年度比 O. 17ポイント減少した。全体としては、この水準を保っていく。

国民健康保険、下水道事業特別会計及びその他の会計(農業集落排水処理施設)については、一般会計からの法定外繰入や基準外繰入を行っているため、黒字を保っている。

その他の会計については、保険料や使用料を適切に賦課徴収することにより事業運営できている。

なお、国民健康保険特別会計については、保険料水準を上げることにより法定外繰入を減少させることとしている。

また、下水道特別会計については、法適化することにより、財務 体質の強化を図るとともに、特別会計については、積極的に基金の 活用を行う。

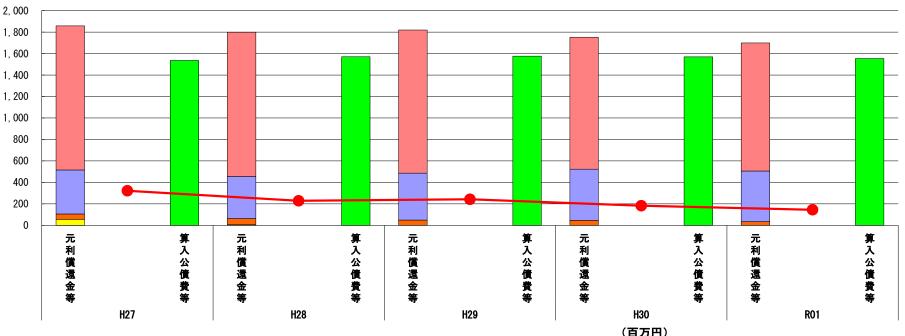
[※]令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

令和元年度

愛知県日進市

(百万円)



						(H/313/
分子の構造	年度	H27	H28	H29	H30	R01
	元利償還金	1, 342	1, 344	1, 333	1, 229	1, 193
	減債基金積立不足算定額※2	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
元利償還金等(A)	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	410	392	437	477	471
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	50	57	49	46	35
	債務負担行為に基づく支出額	56	6	-	-	-
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	1, 536	1, 570	1, 576	1, 569	1, 554
(A) - (B)	━━ 実質公債費比率の分子	322	229	243	183	145

分析欄

元利償還金は平成11年度に借入れた減税てん債 や平成21年度に借入れた学校給食センター設備整 備事業の地方債の償還が終わったことなどにより、 全体として減少となった。

公営企業債の元利償還金に対する繰入金は、下水 道特別会計の分流式下水道等に要する経費が減少し たことなどにより、全体で減少となった。

組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等は、消防施設及びごみ処理施設に対する地方債の償還が進み減少となった。

今後は、公営企業である下水道特別会計も含めた 借入金額を中期財政計画に基づいた適正な金額とす ることで、引き続き健全な水準を維持していく。

※1 令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。 -----

 (参考)
 年度
 H26末
 H27末
 H28末
 H30末

 ※2 減債基金 積立状況等
 減債基金残高(注)

分析欄 該当なし

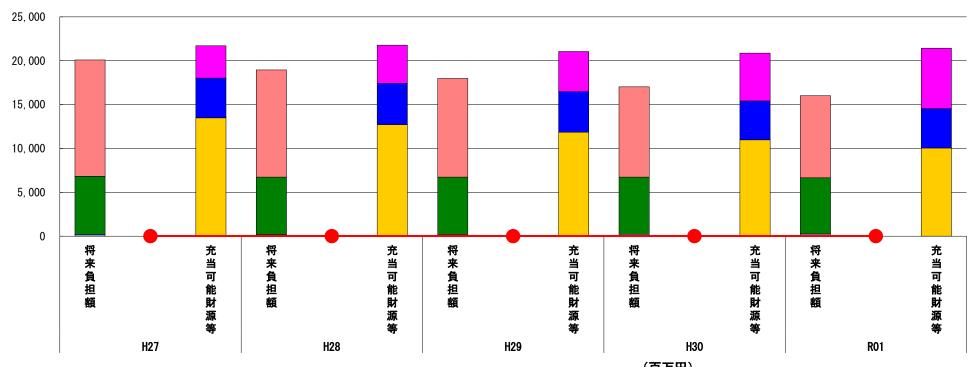
(注)減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。 減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

令和元年度

愛知県日進市

(百万円)



							(白力円)
分子の構造		年度	H27	H28	H29	H30	R01
		一般会計等に係る地方債の現在高	13, 258	12, 218	11, 239	10, 289	9, 357
		債務負担行為に基づく支出予定額	6	-	-	-	-
		公営企業債等繰入見込額	6, 625	6, 554	6, 534	6, 512	6, 411
		組合等負担等見込額	196	177	202	226	253
将来負担額(A)		退職手当負担見込額	-	-	-	-	-
		設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	-
		うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-	-
		連結実質赤字額	-	-	-	-	-
		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-
		充当可能基金	3, 686	4, 358	4, 579	5, 449	6, 873
充当可能財源等(B)		充当可能特定歳入	4, 538	4, 697	4, 627	4, 432	4, 500
		基準財政需要額算入見込額	13, 485	12, 725	11, 847	10, 985	10, 055
(A) - (B)	-	将来負担比率の分子	▲ 1, 625	▲ 2, 831	▲ 3, 078	▲ 3,838	▲ 5, 407

分析欄

一般会計等に係る地方債の残高は、近年は地方債 の償還が進み、借入が少ないため、減少傾向にある。 公営企業債等繰入見込額は、下水道事業債残高が 減少しているため、前年度から減少した。

組合等負担等見込額は、消防施設に対する地方債 の償還が進んだものの、ごみ処理施設に対する地方 債の発行により、地方債残高は増加したため、前年 度から増加した。

今後は、老朽化を迎えるインフラ・公共施設等の 大規模修繕や新規の大規模事業等が見込まれるため、 世代負担を意識しつつ、適正に管理していく。

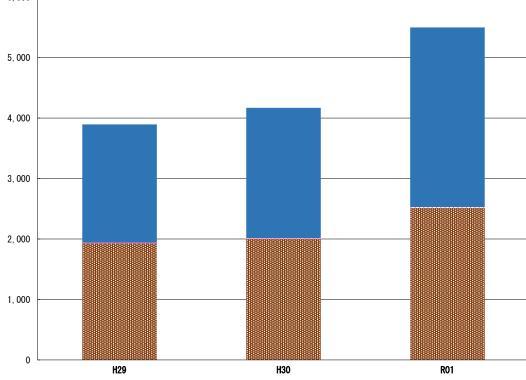
充当可能財源等のうち充当可能基金は、主に財政 調整基金、公共施設整備基金、一般廃棄物処理施設 整備基金等に積み立てた。

上記により、将来負担比率の分子は前年度に引き 続きマイナスの値となり、将来負担比率の表示はな い。

[※]令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高(東日本大震災分を含む)に係る経年分析(市町村)

(百万円) 6,000



区分	平長	H29	H30	R01
	財政調整基金	1, 926	2, 002	2, 514
	減債基金	14	14	14
	その他特定目的基金	1, 956	2, 154	2, 971
	公共施設整備基金	1, 277	1, 478	1, 879
	一般廃棄物処理施設等整備基金	-	ı	322
	地域福祉基金	253	253	258
	五色園団地汚水処理事業財政調整基金	201	192	174
	災害対策基金	145	145	146

基金残高合計

任由

3, 895

令和元年度

愛知県日進市

基金全体

(増減理由)

財政調整基金を、令和元年度補正予算における財源確保分及び利子収入分として、5億1,117万7千円、公共施設整備基金を4億91 万7千円、また、新たに基金を設置した、一般廃棄物処理施設等整備基金を3億2,232万3千円、庁舎建設基金を1億円積み立てたこと などにより、基金全体で13億2,793万9千円増加した。

(今後の方針)

本市では、中期財政計画を毎年のローリング更新をしており、財政調整基金の積立目標等を定めていることから、同計画に基づき運用を行

財政調整基金

(増減理由)

補正予算における財源確保分として5億991万8千円、利子収入分として125万9千円を積み立てた。

(今後の方針)

中期財政計画において、令和7年度にかけては、財政調整基金が大きく減額する見込みである。財政調整基金残高については、税収回復後 には、最低基金残高目標30億円として積立てを実施する。

減債基金

(増減理由)

当該基金の利用予定なし。

(今後の方針)

当該基金の利用予定なし。

その他特定目的基金

主な特定目的基金である公共施設整備基金は、公共施設の大規模修繕や更新費用として積み立てている。

一般廃棄物処理施設等整備基金は、南部浄化センター汚水受入施設建設に充てることとしている。

公共施設整備基金を4億91万7千円、一般廃棄物処理施設等整備基金を3億2,232万3千円、庁舎建設基金を1億円、積み立てたこ となどにより、その他特定目的基金全体で8億1,675万円増加した。

(今後の方針)

主な特定目的基金である公共施設整備基金は、公共施設等総合管理計画に基づき年間2億円程度確保していく。

一般廃棄物処理施設等整備基金は、令和3年度までに全額取り崩しがされる予定である。

5, 498

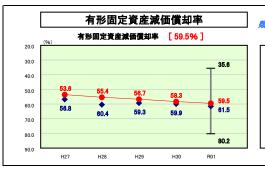
4, 170

(百万円)

91,539 人(R2.1.1現在) うち日本人 89, 787 人(R2.1.1現在) 連結実質赤字比率 34. 91 kmf 実 質 公 債 費 比 率 1 2 入 額 27, 883, 981 千円 来負担比率 26, 585, 559 千円 村 類 型 H27 II - 3 H28 II - 3 H29 II — 3 収 1, 132, 792 千円 支 H30 R01 $\Pi - 3$ $\Pi - 3$ 17.771.782 千円 地方債現在高 9, 357, 237 千円

● 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 T _{類似団体内の} 最大値及び最小値

- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 令和2年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体毎の決算に基づく健全化判断比率等を算出していない団体については、債務償還比率、実質公債費率、将来負担比率のグラフを表記しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



類似団体内順位 全国平均 爱知県平均 31/77 63.4 64.6

有形固定資産減価償却率の分析欄

有形固定資産減価償却率は類似団体と比べると若干低くなってい る。有形固定資産全体のうち、占める比率の最も大きい道路の有形 固定資産減価償却率が類似団体と比べ、低くなっていることが原因で あると考えられる。また、経年比較では、有形固定資産減価償却率は 増加傾向にあり、今後も増加していく見通しである。なお、公共建築物 等については、平成30年度から固定資産台帳から得られる財務情報 と現地調査に基づく老朽化状況などを考慮し、計画的な修繕に取り組 んでいる。



類似団体内順位 4/86

全国平均 642.8

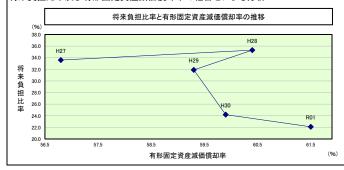
爱知県平均

525.8

債務備還比率の分析欄

債務償還比率は93.3%であり、類似団体637.4%と比べ、低くなって いる。充当可能基金は多くはないものの、地方債残高を考慮し、計画 的に地方債の発行をしてきたことなどで、地方債の現在高が低くなっ ており、その結果、分子は小さくなっている。また、収入の6割近くを地 方税が占めており、そのほとんどが経常一般財源等であることから、 分母は大きくなっており、その結果、債務償還可能年数は低くなって いる。今後も、地方債の発行等については、計画的に行うことで、債 務償還比率の推移に注視していく。

将来負担比率及び有形固定資産減価償却率の組合せによる分析



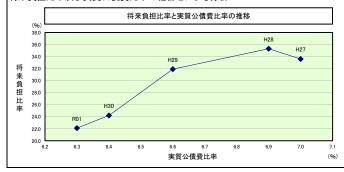
<u>分析欄</u> 有形固定資産減価償却率は施設の法定耐用年数に対する建築後の経過年数の比率であり、新たな資産形成分より既存の減価償却費が上回ったことにより増加した。また、将来負担比率は、将来負担 額が地方債の発行を慎重に行っていることと過去の地方債の償還が進んだことから減少傾向にあり、充当可能財源等が上回ったことから表示されていない。今後も人口増加が見込まれることなどから、直 ちに施設の削減等を予定しておらず、有形固定資産減価償却率は増加していく見通しである。

今後も公共施設等総合管理計画をふまえつつ、中期財政計画に基づいた計画的な財政運営を行うことで、持続可能な形での修繕等を計画的に進めていく。

糸老)

		H27	H28	H29	H30	R01
当該団体値	将来負担比率	-	-	-	-	-
日本世紀	有形固定資産減価償却率	53.6	55.4	56.7	 56.7 58.3 31.9 24.2	59.5
類似団体内平均値	将来負担比率	33.6	35.3	31.9	24.2	22.1
規以四件內干均值	有形固定資産減価償却率	56.8	60.4	59.3	- 58.3 24.2	61.5

将来負担比率及び実質公債費比率の組合せによる分析



-将来負担比率は、将来負担額が地方債の発行を慎重に行っていることと過去の地方債の償還が進んだことから減少傾向にあり、充当可能財源等が上回ったことから表示されていない。実質公債費比率 についても、平成11年度に借入れた減税補てん債等の地方債の償還の終了等により、減少となった。

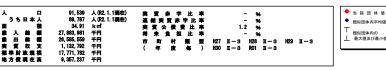
参老

		H27	H28	H29	H30	R01
当該団体値	将来負担比率	-	-	-	-	-
当該四件框	実質公債費比率	2.6	2.0	1.7	1.4	1.2
類似団体内平均値	将来負担比率	33.6	35.3	31.9	24.2	22.1
从队团体内于均值	実質公債費比率	7.0	6.9	6.6	6.4	6.3

(13)-1市町村施設類型別ストック情報分析表①

令和元年度

愛知県日進市



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



類似団体と比較して、有形固定資産減価償却率が低くなっている施設は、道路、認定こども園・幼稚園・保育所、学校施設、児童館である。道路については、類似団体との差は2.6%と大きくはないものの、総量は多いため、全体の有形固定資産減価償却率に対しての影響としては、大きいも のである。また、道路・橋りょう等のインフラ資産についても、個別に現況の点検を行っており、優先度の高い箇所から長寿命化対策などを講じている。認定こども圃・幼稚園・保育所については、平成27年度に米野木台西保育園が建築されたことなどの影響で、有形固定資産減価償却率は45.2%となり、類似団体と比べ低く、一人当たり面積は類似団体と比べ低く、一人当たり面積は類似団体と比べ低く、一人当たり面積は類似団体と比べ低く、一人当たり面積は類似団体と 同程度となっている。児童館については、福祉会館の一部を児童館としているが、6館中4館が平成11年度以降に建築されており、比較的新しいため、有形固定資産減価償却率は類似団体と比べ低くなっている。ただし、施設単体では、有形固定資産減価償却率の高い施設もあり、修繕の優 先順位をつけ、計画的な老朽化対策に取り組んでいくこととしている。

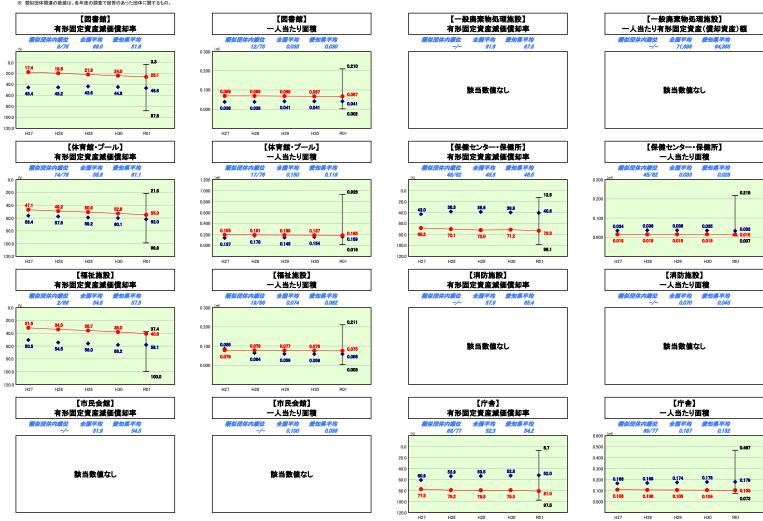
(13)-2市町村施設類型別ストック情報分析表②

令和元年度

愛知県日進市



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和元年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
- ※ 類似団体関連の数値は、各年度の調査で回答のあった団体に関するもの。



図書館については、平成20年度に取得しているため、有形固定資産減価償却率は28.1%となり、類似団体と比べると低くなっている。福祉施設については、福祉会館の館中4館が平成11年度以降に建築されており、比較的新しいため、有形固定資産減価償却率は類似団体と比べ低くなっている。福祉施設については、福祉会館の館中4館が平成11年度以降に建築されており、比較的新しいため、有形固定資産減価償却率は類似団体と比べ低くなっている。 いる。庁舎については、北庁舎(昭和37年築)が法定耐用年数50年であるのに対し、58年が経過しており、法定耐用年数を超えて使用していること、本庁舎(昭和54年築)の法定耐用年数が50年であるが、41年が経過していることなどにより、有形固定資産減価償却率は類似団体と比べ高く なっている。保健センター・保健所については、保健センター本館(昭和58年業)の法定耐用年数は50年であるのに対し、37年が経過していることなどにより、有形固定資産減価優却率は類似団体と比べ高くなっている。

有形固定資産減価償却率の高い施設、特に、法定耐用年数を超えて使用している施設については、実際の老朽化の状況や公共施設等総合管理計画で設定している使用可能年数をも踏まえて、今後のあり方について、検討を進めていく。